



10/29
金

ハッピー ハロウィン！ こゆ保育園の市役所訪問

こゆ保育園の園児のみなさんが、市役所と心のふるさと館にやってきました。

ハロウィンの衣装に身を包んだ21人の園児たちが、みんなで「Trick or treat！（お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ）」と言って、お菓子をもらいました。

子どもたちの可愛らしい姿に、すれ違う大人も笑顔になりました。

これからもさまざまな行事を通して、健やかに成長していく子どもたちの姿を見守っていききたいと思います。



10/13
水

健康づくりや暮らしの充実の取組の一助に 明治安田生命保険から寄付贈呈

明治安田生命保険相互会社福岡支社から、「私の地元応援寄付金」の贈呈を受けました。

この寄付金は、同社の従業員の募金と会社拠出寄付のマッチングによるもので、自治体との共働の取り組みの一環として行われています。

生井福岡支社長から目録を受け取った井本市長は、「市を代表して感謝する。来年は市制施行から50年という節目の年を迎えるが、これからも企業や団体とのパートナーシップを大切にしていきたい」と述べました。

市では、この寄付金を、市民の健康づくりや暮らしの充実に向けた取り組みに活用していきます。



10/17
日

わくわくウォーク大野城！

当日は、時々晴れ間が見える曇り空でしたが、多くの家族が御笠川沿いを歩きながら、各地点に設置されたクイズに挑戦しました。

道中では、まち歩きアプリ「ジョークエスト」の特別ミッションや太陽観測も体験でき、参加者からは、「子どもが自然と楽しみながら参加できた」、「良い運動になり楽しかった」などの感想や、次回に期待する声が寄せられました。

参加者にとって初めて体験することも多く、楽しいイベントとなりました。



大文字

先日、100歳のお祝いの市長表敬訪問に同行取材しました。大正11年生まれで、にこにこ笑顔の素敵なおばあちゃんでした。自宅も生まれた年に建てられたということで、共に100歳です。孫18人、やしやご4人、名前も誕生日も全て記憶していて、誕生日には必ずプレゼントしているとのこと、少し耳が遠い以外は、すごぶる健康で毎日畑仕事に買い物、洗濯と、自分のことは全て自分でする恐るべき100歳です。大勢の子や孫たちに囲まれてとても幸せそうでした。

一方、私の母親は少し若く92歳です。認知症を発症して10年余り経ちますが、今では子どもや孫の名前や顔もほとんど分かりません。「認知症は天使がくれたプレゼント」という話を聞いて、なるほどと思いました。日々のストレスや悲しみ、不安などが、直ぐに記憶から消えて後に残らず、平穏に暮らすことができるのだと…。後8年で100歳を迎えるが、それまで健康で長生きしてほしい、家族皆で百寿のお祝いをしたいと願っています。

㊦